

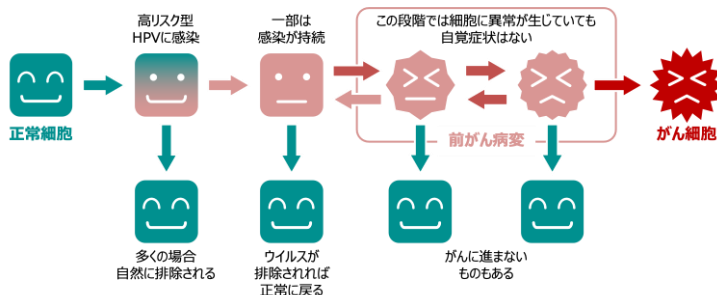
## 当院での 9 価の子宮頸がんワクチン「シルガード 9」接種について

- ☆ 令和 5 年 4 月 1 日より 9 価ワクチン(シルガード)が定期接種に追加されました。
- ☆ 令和 7 年 3 月をもってキャッチアップ接種の接種可能期間が終了します。

### \* 子宮頸がんとは

子宮頸がんは子宮の入口付近にできるがんで、30～40 代女性に好発します。日本における子宮頸がんの発症数は年間約 10,000 人で、死亡者数は年間約 2,900 人と報告されており、なかでも出産年齢のピークとなる 20～30 代女性における罹患率は増加傾向にあります。子宮頸がんの治療成績は向上していますが、それでも治療による後遺症や身体的・精神的負担などで苦しむ患者さんも少なくありません。例えば、前癌病変や初期のがんに対して子宮頸部円錐切除術を受けた場合、流産や早産、帝王切開のリスクが高まる場合があります。また、進行癌の場合には子宮摘出が必要となり、妊娠できなくなったり、術後合併症によりリンパ浮腫や排尿障害などに悩まされることもあります。

この子宮頸がんの原因の約 9 割以上がヒトパピローマウイルス(HPV)の感染によって起こることが明らかになっています。HPV は性交渉により感染するウイルスで、最近では性交渉年齢の早期化のため若年者の子宮頸がんが増えています。



### \* 子宮頸がんの予防

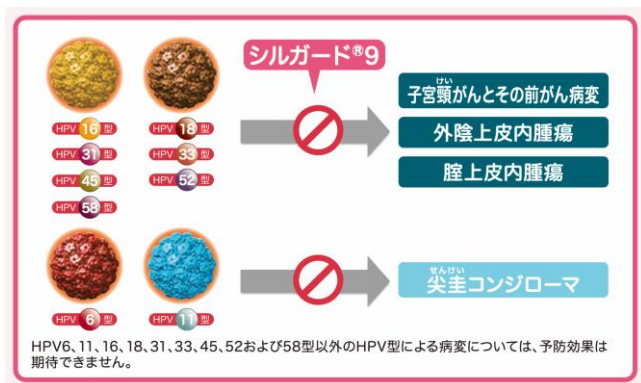
HPV は一度でも性交渉経験のある女性であれば 80%以上の確率で生涯に感染するとされるごくあふれたウイルスです。多くの場合は HPV に感染しても自己免疫力などで回復しますが、0.1%程度の割合で HPV の持続感染により癌化することが知られています。子宮頸がんワクチンは HPV 感染を防ぐことにより子宮頸がんの発症を予防することのできる非常に有効な方法です。もちろん、HPV ワクチンにより子宮頸がんを 100%予防できるわけではないため、HPV ワクチン接種後も 20 歳を過ぎたら 2 年に 1 度の子宮がん検診を受け、早期発見・早期治療に努める必要があることになり変わりはありませんが、子宮頸がんは「HPV ワクチンによる一次予防」と「子宮がん検診による二次予防」を組み合わせることにより排除できる可能性のある疾患です。

\* 子宮頸がんワクチンの安全性

HPV ワクチンの安全性をめぐっては、国内で行われた 2 つの調査で、「HPV ワクチンの接種歴がない人でも HPV ワクチン接種後に報告されている症状(疼痛や運動障害など)と同じ症状を持つ人が一定数存在すること」、「HPV ワクチンを接種した人と接種していない人との間で症状の発生する頻度に有意な差はなかったこと」が明らかになっています。WHO も「HPV ワクチンは極めて安全である」と結論づけています。

\* 子宮頸がんワクチン「シルガード 9」

子宮頸がんワクチン「ガーダシル」が対応している 4 つの型(HPV 6/11/16/18 型)に加え、5 つの型(HPV 31/33/45/52/58 型)に対応しており、子宮頸がんの原因となる HPV 型の 88.2%をカバーできるようになりました。また、ガーダシルによる予防効果に加え、新たに追加された 5 つの HPV 型に関連した腫瘍の予防効果は 96.7%と報告されています。



他の HPV ワクチンと比べ有意に起こりやすい副反応はなく、下記のような報告があります。

- ・10%以上:注射部位の痛み、腫れ、赤み
- ・1-10%未満:発熱、注射部位のかゆみ、出血、熱っぽさ、しこり、など
- ・1%未満:手足の痛み、腹痛、下痢
- ・頻度不明:寒気、疲れ、だるさ、など

\* HPV ワクチンの接種方法



## 2 価ワクチン(サーバリックス)

1 ヶ月の間隔をおいて 2 回接種を行った後、1 回目の接種から 6 ヶ月の間隔をおいて 1 回目の接種を行います。

## 4 価ワクチン(ガーダシル)

2 ヶ月の間隔をおいて 2 回接種を行った後、1 回目の接種から 6 ヶ月の間隔をおいて 1 回目の接種を行います。

## 9 価ワクチン(シルガード 9)

1 回目の接種を 15 歳になるまでに受ける場合、1 回目の接種から 6 ヶ月の間隔をあけて、合計 2 回接種します。

1 回目の接種を 15 歳になってから受ける場合、1 回目の接種から 2 ヶ月、2 回目の接種から 4 ヶ月の間隔をあけて、合計 3 回接種します。

※1 1 回目と 2 回目の接種は、少なくとも 5 ヶ月以上あけます。5 ヶ月未満である場合、3 回目の接種が必要になります。

※2・3 2 回目と 3 回目の接種がそれぞれ 1 回目の 2 ヶ月後と 6 ヶ月後にできない場合、2 回目は 1 回目から 1 ヶ月以上(※2)、3 回目は 2 回目から 3 ヶ月以上(※3)あけます。

※4・5 2 回目と 3 回目の接種がそれぞれ 1 回目の 1 ヶ月後と 6 ヶ月後にできない場合、2 回目は 1 回目から 1 ヶ月以上(※4)、3 回目は 1 回目から 5 ヶ月以上、2 回目から 2 ヶ月半以上(※5)あけます。

3 種類いずれも、1 年以内に接種を終えることが望ましいとされています。

接種方法:筋肉注射(1 回 0.5ml)

接種対象者:小学校 6 年～高校 1 年の女子(定期接種の場合)

ただし、定期接種の対象年齢を過ぎてても有効です。初めての性交渉より前に接種をするのが最も有効ですが、性交渉の経験があっても新たな感染を予防するという意味があります。CDC(アメリカ疾病予防管理センター)は「26 歳までは HPV ワクチンの接種を推奨しており、27 歳以降については個々のライフスタイルによつての判断」との見解を示しています。ただし、定期接種の対象でない場合には自費での接種になります。

※これまでに 2 価、4 価の HPV ワクチンを 1 回、または 2 回接種した場合

原則として同じ種類のワクチンを接種することをお勧めしますが、途中から 9 価ワクチンに変更し、残りの接種を完了することも可能です。

## **※HPV ワクチンの接種を逃した場合(キャッチアップ接種)**

HPV ワクチンの積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した方に、特例として定期接種の対象

者を越えて接種が可能になります。

**期間:令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間**

**対象者:次の2つを満たす方**

- ① 平成9年度から平成19年度生まれ(誕生日が1997年4月2日~2008年4月1日)の女性
- ② 過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない

#### 当院でのHPVワクチン接種

- ・予約は不要です
- ・初診料、選定療養費は不要です
- ・小児科では9歳から中学3年生を、産婦人科では小学6年生以上を対象とします。  
小学6年生~中学3年生は、どちらの診療科を選択されても結構です。
- ・接種費用  
公費の場合(定期接種およびキャッチアップ接種):無料  
自費の場合:シルガード 33,000円/回(税込み)

<子宮頸がん予防情報サイト「もっと守ろう」>

子宮頸がんとHPVワクチンについてさらに詳しい情報を知りたい方は下記サイトをご覧ください。

URL: [shikyukeigan-yobo.jp](http://shikyukeigan-yobo.jp)

QRコード:

